

6月24日（月）早朝、成田空港発アムステルダム行 KLM862便



(1) アムステルダム現地時間 15:00 に到着しました。 (2) アムステルダム空港内には図書館があります。



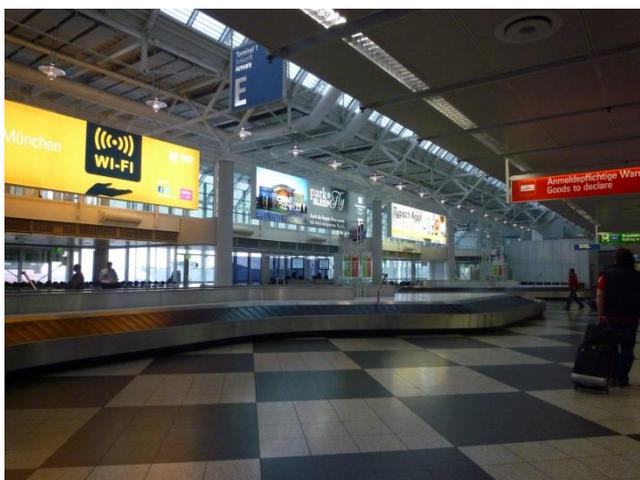
(3) EU 圏に入国するため入国審査を受けます。審査では、いろいろと聞かれました（どこに行く、何日滞在するか、ホテルはどこに予約したか、滞在目的は）。このため、審査を通過するために非常に時間がかかりました。トランジットの際には十分余裕をもって飛行機の予約をしましょう。



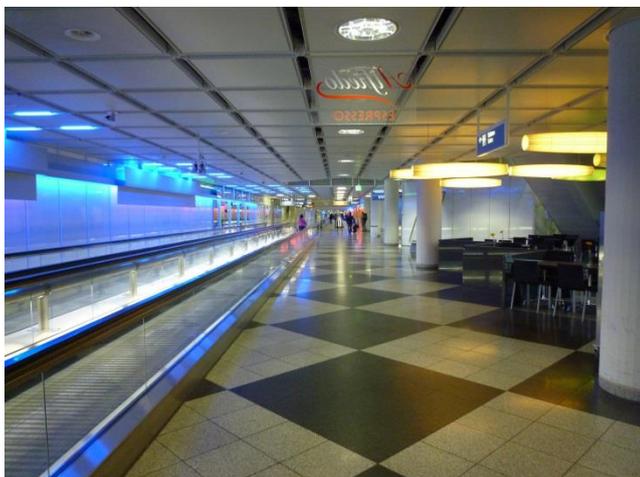
(4) アムステルダムの空港内に SHIATSU マッサージ機が置いてありました。



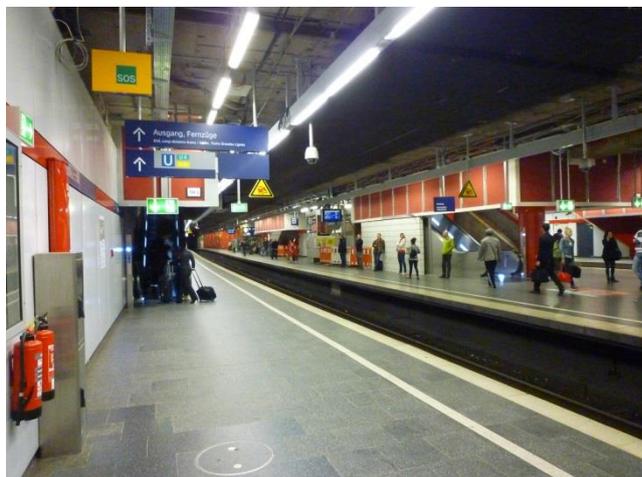
6月24日(月) 現地時間18:00 アムステルダム発 ミュンヘン行 KLM1799 小さな飛行機なので、徒歩で搭乗。気温が低く、服装が夏服だったので寒かった。。



6月24日(月) 現地時間19:30 ミュンヘンに無事到着。アムステルダムで入国審査が行われているため、ミュンヘンではなにもパスポートはチェックされません。これからミュンヘン中央駅へ移動。空港内でS1あるいはS8の乗り場まで徒歩で移動。移動時間はかなりかかりました。ミュンヘンへ出張、あるいは旅行に行く際には、注意した方がいいです。



(1) 鉄道までの移動の様子



(2) S1 空港駅ホーム 20:11 発→ミュンヘン中央駅
21:00 着。10. 40 ユーロ



(3) 21:30 無事にホテルに到着。これで6月24日の長〜い一日が終了しました。ビールを飲んで、就寝。



2013年6月25日（火）朝。ホテルの朝食です。 早朝散歩。ホテルの周辺の様子。



夕方の方のウエルカムパーティーまでの間、短時間でしたがミュンヘンの周辺を散策してきました。



(1)市庁舎



(2)Residenz エントランス



(3)Residentz の内部の様子



(4)イングリッシュガーデン



(5)イングリッシュガーデンでとんでもないものを発見しました。前日の大雨で増水した川の流れを利用してサーフィンをやっている若者が大勢いました。ちょっと信じられません。現地テレビ局もその様子取材していました。



(6)ウエルカムパーティーの会場。外は非常に寒い
ため、誰もいませんでした。



(7)アーヘン工科大学 Zhao 先生と。昨年12月に
OBZ で出会い、熾烈な議論を交わしたことから仲良
くなりました。



(8)ダルムシュタット工科大学 博士課程
の学生と。彼は講演の聴講のみとのこと。
顔は老けていますが、私よりも年齢的には
若いです。たしか、28歳。ドイツの大学で
は、博士課程の学生は、大学から給料を
もらい、プロジェクト研究に参画しながら学位
をとるそうです。日本の大学の状況を説明し
たらびっくりしていました。



2013年6月26日(水)9:00よりワークショップ開催。左は岡崎教授(長岡技術科学大学)、右はOechsner教授(ダルムシュタット工科大学)。本ワークショップの目的は、ガスタービンエンジン、発電設備に係る材料、コーティングに関する最新の研究成果を紹介することであり、産学官約60名程度の聴講者がいました。6月26日、27日の2日間にわたり早朝9:00から19:00まで開催されました。ここでは、すべてを紹介しません。以下は、私の講演の様子です。



現在、メーカーと共同研究を実施しているガスタービン動翼を効率的に冷却するためのトランスピレーション冷却技術ならびにそれに必要となる Porous ceramic coating に関する技術成果の概要について紹介してきました。



Advanced TBC systems というテクニカルセッションの座長をしている様子です。



6月26日の晩餐会。市庁舎のレストランにて。



やはりドイツはビールでしょう。



6月27日（木）夜に無事、ワークショップは終了しました。



というわけでまずは1杯。



博士課程の学生のマリオ君に促されつつもう1杯。



さらにもう1杯。



何度ももう1杯。最終的には12時までエンドレスで飲み続けました。I Love Munich! 博士課程の学生達よ。ありがとう。



みなさんは帰宅しましたが、オイシュナー教授、大学院の学生達、岩手大学の脇先生とドイツ製ボドガ（ものすごい度数が高かった）を4杯飲んで、終了しました。なお、オイシュナー先生は、我々と別れた後、別のバーで飲み直しをしたそうです。さすがドイツ人はタフですね。



2013年6月28日（金）。前日の二日酔いにも関わらず、今度は早朝からBMWへ行ってきました。写真は、BMWの本社の外観写真です。詳細については、割愛いたします。



ドイツ技術者の技術の結晶を見よ！





これ、何かわかりますか？ボンネットの先端についているエンブレムの製造工程です。精密鋳造のもと手仕上げでエンブレムを作製しているそうです。すごい！金属材料の加工技術の参考まで。



この写真、わかりにくいのですが、炭素繊維複合材料によるボディの成型写真です。部品と部品の継ぎ目には、溶接が適用できないため、接着剤を用いているそうです。現在、BMWでは電気自動車の開発に力を入れており、このため新しい素材とその加工技術は重要な研究テーマのひとつのようです。



6月29日（土）にミュンヘンを離れ、アムステルダム、成田空港と移動し、6月30日（日）の朝に日本に到着しました。